

在シドニー総領事通信

第 67 回 ペロテーNSW州首相の訪日

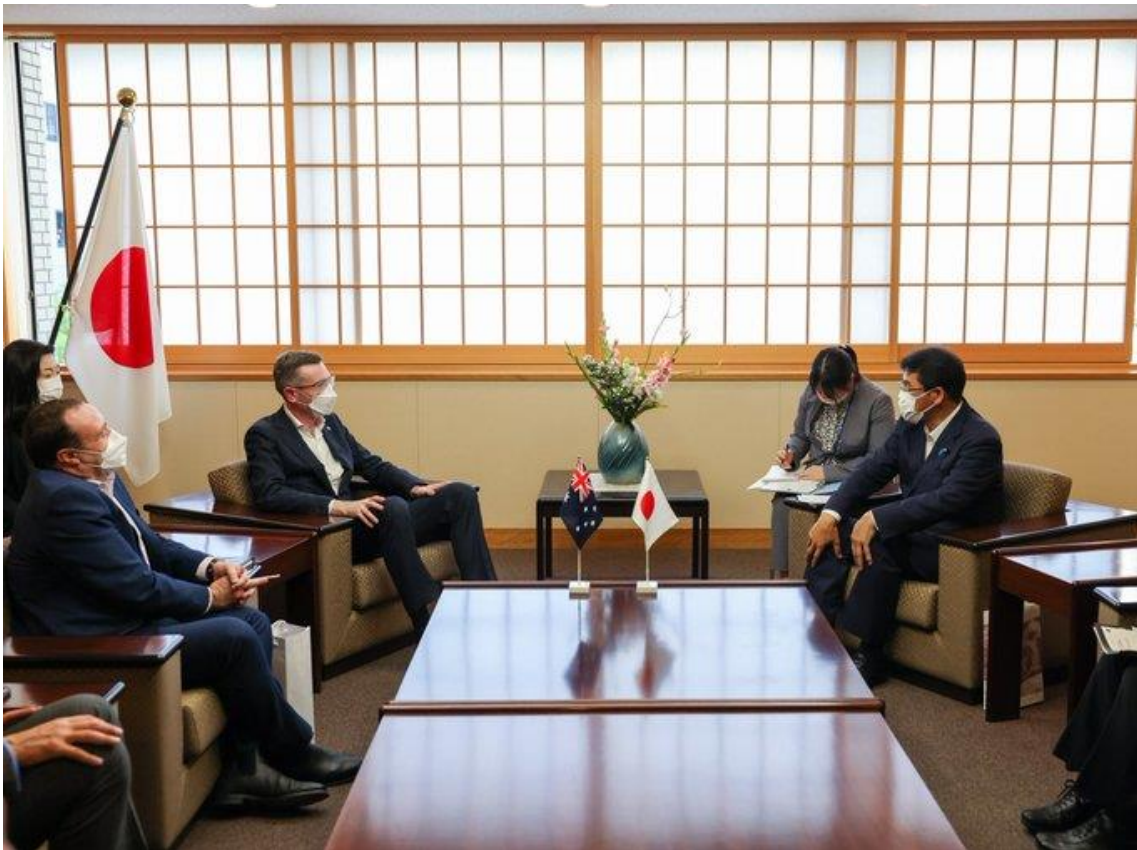
令和 4 年（2022 年）8 月 1 日



ペロテーNSW州首相と三宅外務大臣政務官との会談（2022 年 7 月 22 日）

ペロテーNSW州首相が、7月21日から24日まで日本を訪問しました。昨年10月に州首相に就任してからの初めての外遊です。最初の訪問先に日本を選んだのは、同首相が日本を重視する姿勢を示すものです。東京のみならず、NSW州の高校生とともに広島も訪問しました。

人口や経済が豪州最大のNSW州と日本は、長年にわたり貿易・投資や人的交流など幅広い関係を築いてきました。今回のペロテー州首相の訪日は、その基盤に立って、新事務所の開設やエネルギー移行の推進など新たな関係を切り開くものです。今回の総領事通信では、ペロテー州首相の訪日の概要を報告するとともに、協力関係の更なる発展の方途を考えたいと思います。



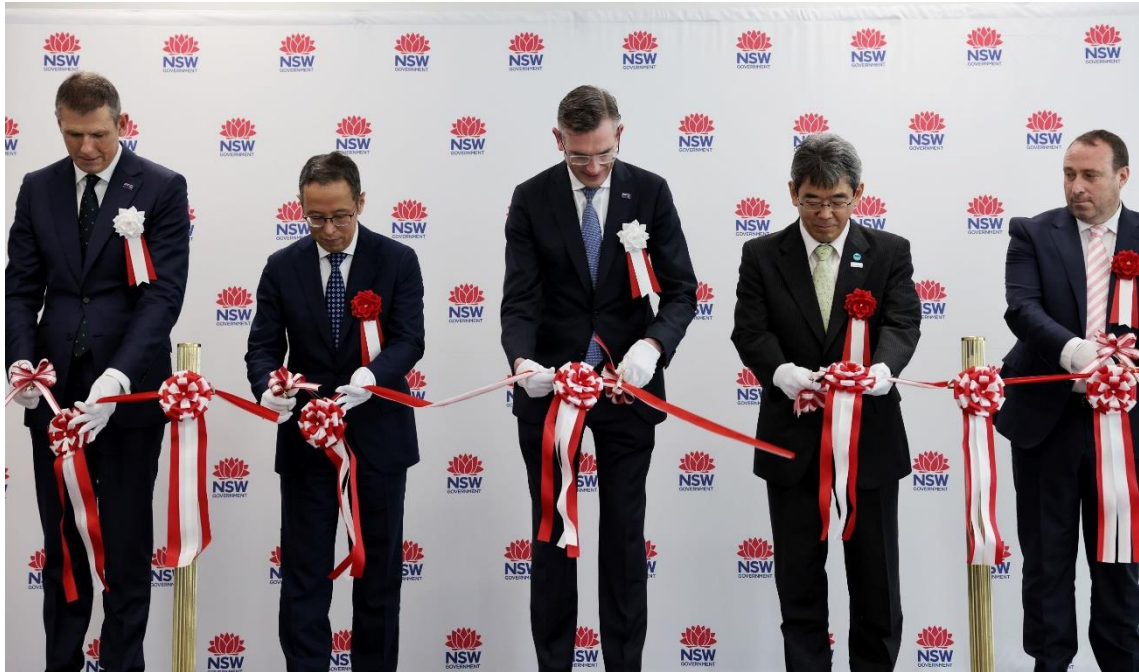
ペロテーNSW州首相と三宅外務大臣政務官の会談
(2022年7月22日、ペロテー州首相 Twitter)

●三宅外務大臣政務官との会談

ペロテー州首相は訪日中の7月22日に外務省を訪れ、[三宅伸吾外務大臣政務官と会談](#)を行いました。

冒頭、三宅政務官から、豪州最大の経済規模を誇り、在留邦人や日本企業が多く所在するNSW州は、我が国にとり、人的・経済的な繋がりが深い特別な存在であると述べました。また、安倍元総理の逝去に当たり、ペロテー州首相から心のこもったメッセージを頂いたことへの謝意とともに、オペラハウスのライトアップには日本国民が心を動かされた旨を伝えました。

ペロテー州首相からは、今回の訪日における日本政府や企業関係者との対話を通じて、貿易投資及び人的交流を一層拡大させたいとの意欲が示されました。そして両者は、日本と豪州及びNSW州の関係を更に深化させることで一致しました。同席者からは大変良い内容の会談であったとの報告を受けており、とても嬉しく思っています。



NSW州東京事務所の開所式
(2022年7月21日、写真：NSW州政府)

● NSW州政府駐日事務所の開所式

今回のペロテー州首相訪日の目的の一つは、NSW州政府駐日事務所の開所式を開催することでした。

NSW州政府は昨年3月に広く対外経済関係を統括する投資庁（Invest NSW）を新設し、同7月には[マイケル・ニューマン駐日代表を任命](#)しました。ニューマン代表は、シドニーを拠点に豪州内でのネットワークを広げた後、コロナ規制緩和後の本年5月に日本に赴任し、6月には中央区京橋の京橋トラストタワー9階に事務所を開設して本格的な活動を始めました。そして、今回の正式な開所式に至ったものです。

[7月21日午前に行われた開所式](#)にはロバーツ豪州駐日臨時代理大使、山本敏生東京都外務長、信谷和重JETRO副理事長、コックス在京豪大商務公使も臨席しました。

ペロテー州首相は、NSW州の日本におけるプレゼンスを強化することで関係を深め、投資や輸出機会を加速して雇用や富を更に創出できると述べています。



NSW州政府主催レセプションでのペロター州首相講演
(2022年7月21日、ペロター州首相 Twitter)

● NSW州政府主催レセプション

7月21日の夕刻には、NSW州政府主催のレセプションが都内ホテルで開催されました。このレセプションで、ペロター州首相は多数の日本企業関係者を前に講演を行うとともに、各社と個別に挨拶しました。ペロター州首相の [Facebook 動画](#)で紹介されていた日本企業関係者の長い列は、まさにNSW州と日本の幅広い関係を象徴していると思います。

このように、NSW州首相が多数の日本企業関係者とともに会して直接やりとりをする機会は、私が着任してから初めてのことで、出席した各社がビジネスを具体化する上で大きく役に立ったのではないかと思います。

それに加え、バイの会談も行われました。7月22日、ペロター州首相は日立の中北地域担当〔APAC〕常務と会談し、西シドニーのブラッドフィールド市中心部の第一ビルに、政府以外の最初の入居者として [2023年に協創センターが開設](#)されることを発表しました。これは、NSW州政府による同地区での先端製造業研究施設（AMRF）への投資と軌を一にするものです。



小池東京都知事との会談（2022年7月21日、ペロテー州首相 Twitter）

●小池東京都知事との会談

7月21日のNSW州政府主催レセプション後、ペロテー州首相は小池百合子東京都知事と会談を行いました。

東京都とNSW州は1984年に[姉妹都市関係を締結](#)しました。2015年にはスポーツ、教育、都市づくりの3分野において交流・協力を行う[合意書を締結](#)し、教育分野の覚書の更新や、都市開発・整備に関連する部局職員の相互派遣等を行っています。東京都はカウラの日本庭園の造営にも貢献しており、当時の記念品が日本文化センターに展示されています。

東京都は、昨年まで東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催が国際交流の大きな柱で、厳しいコロナ状況の下で開催実現に大きく貢献していました。今回のペロテー州首相訪日と今後のコロナ規制緩和の機会を捉えて、東京都とNSW州の交流が拡大するよう願っています。



岩谷産業の水素ステーション視察
(2022 年 7 月 22 日、ペロター州首相 Twitter)

●水素ステーションの視察

7 月 22 日、ペロター州首相は芝公園にある岩谷産業の水素ステーションを視察しました。日本は NSW 州から長年にわたり石炭を輸入してきましたが、今後、脱炭素社会に向けて水素・アンモニアをはじめとするクリーンエネルギーに移行していく必要があります。

現在、日豪両国は水素社会実現に向けて協力を推進しており、これは今後の日本と NSW 州の大きな柱の一つとなるでしょう。NSW 州は昨年[水素戦略を発表](#)したのみならず、QLD 州やVIC 州と協力して、豪州東海岸では[水素ステーションのネットワーク構築](#)に取り組み、日本企業にも関心表明を求めています。今後、水素サプライチェーン構築に向けて、NSW 州でも日本政府・企業との協力が一層具体化することを期待しています。



首都圏外郭放水路の視察
(2022 年 7 月 24 日、ペロテー州首相 Twitter)

●首都圏外郭放水路の視察

最近、N S W州では洪水被害が大きな課題となっています。7 月 24 日、ペロテー州首相は埼玉県春日部市にある[首都圏外郭放水路](#)（Metropolitan Area Outer Underground Discharge Channel）を視察しました。

これは、全長約 6.3 km、内径約 10mの地下トンネルで、水が流れ込む調圧水槽は、長さ 177m・幅 78mの広さで、59 本の巨大なコンクリート柱が林立し、貯水量は約 67 万 m^3 です。1993 年から 2006 年まで、総工費約 2300 億円で建設されました。毎年 7 ～ 8 回程度、洪水を地下の施設に流入させて江戸川に排水することにより、地域の浸水被害を軽減しています。

このような日本の技術の導入により、N S W州でも洪水被害がなくなることを願っています。



観光ラウンドテーブル（2022年7月22日、ペロテー州首相 Twitter）

●観光ラウンドテーブル

日本とNSW州の関係強化に向けてのもう一つの大きな柱は観光です。修学旅行や留学も含め、日豪間の双方向の人的交流は、経済の発展のみならず相互理解と信頼関係の深化にも大きく資するものです。7月22日、ペロテー州首相は日本の航空・旅行会社約10社の代表と、[屋食を交えて意見交換](#)を行いました。

先日の[総領事通信](#)でもご報告しましたが、当地シドニーでは本年5月に豪州観光商談会（Australia Tourism Exchange 2022）が開催され、日本からも多数の旅行会社幹部が来訪・参加しました。このようなハイレベルの直接の対話を通じて、観光・留学を通じた交流が更に深まることを期待しています。

私自身も、先日、NSW州留学支援局（Study NSW）と協力して、日本の若者がNSW州に留学するよう呼びかける[動画](#)でメッセージを伝えました。皆の取組で、機運を盛り上げていきたいと思ひます。



Single 0 Café (2022 年 7 月 22 日、ペロテー州首相 Twitter)

●Single 0 カフェ訪問

日本とNSW州のつながりは、ライフスタイルにも広がっています。ペロテー州首相は、コロナ中の 2021 年 10 月に日本橋浜町にオープンしたシドニー発のカフェ、[Single 0 Hamacho](#) を 7 月 22 日の朝に訪問しました。同州首相の [Facebook 動画](#) でも紹介されています。

2008 年にシドニー・サリーヒルズの Single 0 カフェ本店で働き始めた Single 0 Japan 現代表の山本氏は、2014 年に両国で同店国外初の焙煎所を稼働して Single 0 Japan を立ち上げました。その後、Freepour Coffee On Tap とエスプレッソ、そしてシドニーでも長年愛されている食事メニューを提供すべく、昨年カフェをオープンしたものです。日本のメディアでも「[蛇口からコーヒーが出るシドニー発の新感覚カフェ](#)」、そして「[シドニーと日本橋のイメージをミックスした内装](#)」など、話題を呼んでいます。

このようなお店を通じて、豪州の魅力的なライフスタイルが、日本でも気軽に楽しめるよう、当地からも紹介して後押ししていきたいと思います。



新幹線に乗車するペロテー州首相とエリオット交通・退役軍人大臣
(2022年7月23日、AAP Image/Bianca De Marchi)

●新幹線での広島への移動

週末の7月23日、ペロテー州首相は新幹線に乗り、エリオット交通・退役軍人大臣と、東京・広島・ハワイを研修旅行中のNSW州の高校生とともに、広島に移動しました。

豪州では、高速鉄道の導入が長年の課題になっています。アルバニー首相は、5月の就任直後に訪日して日豪首脳会談を行った際、高速鉄道への関心の高さを開陳しつつ日本の新幹線に言及しています。また、NSW州は2022-23年度予算で、アルバニー首相が連邦選挙前に表明した5億豪ドルの高速鉄道への投資が行われることを前提に、同じく5億豪ドルを高速鉄道に投資することを[表明](#)しています。

今回の新幹線乗車が、連邦政府とNSW州政府の協力による高速鉄道の実現に将来つながっていくよう願っています。



広島原爆死没者慰霊碑での献花
(2022 年 7 月 23 日、ペロテー州首相 Twitter)

●広島訪問

広島では、ペロテー州首相はエリオット大臣、NSW州の高校生6名とともに、原爆ドームを訪れ、原爆死没者慰霊碑で献花するとともに、広島平和記念資料館を見学し、被爆体験講話に耳を傾けました。ペロテー州首相は広島訪問の感想を[Facebook 動画](#)でも語っています。

今回参加した高校生は、[Club NSW 主催の懸賞論文](#)で、「第二次大戦の教訓は今でも意味があるのか」をテーマに1,000字の論文を書いて[州首相賞を受賞](#)し、第二次大戦研修旅行で東京、広島とハワイの真珠湾を訪問中でした。私も、出発前にシドニーで、ペロテー州首相やエリオット大臣、エルダー在シドニー米国総領事とともに授賞式や壮行会に臨席しました。

第二次大戦では、日本は米豪と対戦しましたが、戦後77年を経て、日米豪が現在のように緊密に協力するようになったことを感慨深く思います。次世代の高校生たちが、戦争の歴史を現場で学ぶとともに交流を深め、平和を実現する決意を新たにすることが得られたことを本当に嬉しく思っています。



Single 0 Surry Hills 本店にて（2022 年 7 月 30 日）

●日本とNSW州の更なる関係強化に向けて

今回のペロテー州首相の訪日には同行できませんでしたが、準備の過程で当地から最大限の支援を行ってきました。日本とNSW州の幅広い協力関係を反映した多くの行事が行われ、大きな成果を上げることができ嬉しく思っています。

これから、訪日の成果を当地でフォローアップし、具体的な進展につなげていく考えです。先週末、シドニーのサリーヒルズにある Single 0 カフェの本店に早速行ってきました（笑）。また、今回執筆した総領事通信もフォローアップの一環です。

世界と日豪両国のために日豪が「特別な戦略的パートナーシップ」を強化するためには、人口も経済も豪州最大のNSW州と日本の協力関係の深化が不可欠です。そのために、皆様とともに一層努力していきたいと思えます。引き続きよろしくお願いいたします。

在シドニー日本国総領事 紀谷昌彦